
記者資料提供（平成30年5月1日）

地方独立行政法人神戸市民病院機構

（公表事案について）

神戸市立医療センター西市民病院事務局医事課 重松・宮崎

TEL：078-576-5251

（公表に関する指針について）

法人本部経営企画室総務課 藤原・伊藤

TEL：078-940-0156

（一般的な感染症対策について）

神戸市保健福祉局保健所予防衛生課 尾崎

TEL：078-322-6789

神戸市立医療センター西市民病院におけるインフルエンザ院内感染について

今回の事例に関しては、医療側の過失の有無に拘わらず、公表が他の医療機関の院内感染防止に資すると判断される事例と判断したために公表いたします。

なお、公表に当たっては患者さん及びご家族が特定・識別されないよう、個人情報の保護に最大限の配慮を行いつつ、事案の内容について一定の範囲で公表を行っています。

【公表事案】

発生年月：平成30年4月

発生場所：神戸市立医療センター西市民病院

発生状況と経緯：

平成30年4月11日より、病棟において複数の患者さん、医療者にインフルエンザ陽性患者が発生していることから、4月12日に認知し、感染対策を開始した（隔離、移動制限、予防投与）。

4月12日に患者発生が増加し、アウトブレイクの基準を超えたため、保健センターに報告するとともに、対策を強化した。

最終的に当該病棟において患者さん11名、医療者3名計14名のインフルエンザ陽性患者を確認している。

また、感染者の内、4月12日インフルエンザA型を発症した患者さんについて、治療を行っていたが、4月13日夜にインフルエンザを一因とする重症肺炎による呼吸状態悪化のため4月14日に亡くなられた。

今後の対策：

従来より院内感染対策の徹底を行ってきたが、今後とも研修などを通じより一層の感染防止対策に取り組んでいく。